

令和3年度第1回認知症施策事業推進委員会の開催結果

1 委員長及び副委員長の互選について

- (1) 三澤委員を委員長に選任することについて 承認
- (2) 橋詰委員を副委員長に選任することについて 承認

2 議題

- (1) 令和2年度事業実績について
2件の意見あり（別紙のとおり）
- (2) 令和3年度事業報告について
3件の意見あり（別紙のとおり）

別紙

(1) 令和2年度事業実績に係る御意見と対応

No.	委員名	箇所	意見概要	対応
1	森田委員	資料2	コロナ禍の影響に困る、未実施や実績の減少量等が報告されているが、その様な社会情勢の影響を最も大きく受ける認知症の方々やご家族に対して十分な対策を切れ目なく実施できる方法や体制づくりを模索する必要があると考えます。	コロナ禍におきましても本人・家族に必要な事業は、可能な限り実施してまいりました。今後におきましても、感染状況を見定めながら、可能な限り事業を実施してまいります。
2	益田委員	資料2	特に仕事をしたなあ実感はまるでありません。2Pの課題で次年度以降の展開に、○コロナ禍においてもオンライン等を活用し…とあるが、それを書面で確認するのはギャグかと。 Web会議の手段も取り入れて委員会は開くべきでは？他の委員会は感染対策しながら開催しているのに、未だに書面開催なのは？です。	2頁のオンラインに係る記述は、認知症サポーター養成講座の実施に係る令和3年度以降の展開を記載したものです。 令和4年度は、認知症サポーター養成講座のオンライン開催に加えて、認知症施策事業推進委員会についても、Web会議等の手法を取り入れ、開催を検討したいと考えております。

(2) 令和3年度事業報告に係る御意見と対応

No.	委員名	箇所	意見概要	対応
3	森田委員	資料3 資料4	当委員会の定期的な開催を望みます（今回の書面開催は苦肉の策であるとは十分に理解していますが…せめてオンラインでも）	令和4年度は、認知症施策事業推進委員会についても、Web会議等の手法を取り入れ、開催を検討したいと考えております。
4	益田委員	資料3 資料4	コロナを理由にやらなくて良いのなら、やらなくて良いのでは？やってるフリに付き合うのはイヤです。現場にまかせっきりで、小金井市としての意思や決意が感じ取れない残念な委員会だと思います。認知症の方、それをケアする方、現場の方、みんな困窮して疲弊してますよ。	
5	杉森委員	資料3 資料4	コロナ禍の中、私たちが今できる事、また当事者や家族のニーズが何なのか、そういう事を委員の方たちに聞く機会があると良いなと思いました。	